



# NNNews 2月号

鹿行農林事務所 行方地域農業改良普及センター

Tel:0299-72-0256 Fax:0299-72-1690 担当 平松

## 農業学園実施状況

### 第4回講座「GAP講座」

8月10日(木)に第4回講座「GAP講座」を開催し、学園生他14名が参加しました。

「GAPの概要と必要性について」と題して講義及びグループワークを行いました。GAPとは「Good Agricultural Practice(良い農業の行い)」の略で自身のBAP(悪い農業の行い)に気づき、改善していく取組の事です。講義では、実際の作業場におけるBAPの事例、GAPに取り組む上でのポイント、GAP認証取得等について紹介しました。その中で「自家経営のリスク」を考えてワークシートに書き出し、グループで意見交換を行いました。学園生からは「問題となりそうな部分を把握しているつもりでも、気付いていない点が多かった」等の感想が挙げられ、意見交換によって「指摘されて初めて気づくこと」も多かったようです。

県では、茨城県GAP第三者確認制度が12月20日から始まりました。GAPの取組や第三者確認制度にご興味のある方は普及センターまでお気軽にご相談ください。



### 第5回講座「若手農家事例研修および情報交換会」



9月12日(火)に第5回講座「若手農家事例研修」を開催し、学園生5名が参加しました。

自身も学園生である行方地域農業後継者クラブ「ミラクルTRICK」のクラブ員2名が講師となり、自身の農業経営について紹介し、作業場や圃場の見学を行いました。学園生はそれぞれ栽培している品目が異なるため、特に自分の栽培していない品目については初めて見聞きするものもあり、新鮮だったようです。講師のクラブ員が新しい品目の栽培を始めたという話を聞き、学園生からは「自分も色々なことに挑戦してみたいと思った」との感想が挙げられました。

研修後には情報交換会を開催し、お互いの農業経営について活発な意見交換がなされました。学園生同士がお互いの農業について知ることができ、また親睦を深める良い機会になりました。また、講師を務めたミラクルTRICKのクラブ員にとっても自身の農業を見直し、今後の活動について考えるきっかけとなりました。

## 第6回講座「資材展研修」

10月12日（木）に行方、銚田地域合同で第6回講座「資材展研修」を開催し、農業ワールド2017内の「農業資材EXPO」の自由見学を行いました。銚田地域を含め10名の農業学園生が参加し、農薬や肥料、土壌改良材から鳥獣害対策資材、ドローンや環境制御システム等、幅広い資材の展示の中から学園生各々が自分の興味のある分野の展示を見学しました。

見学前には肥料・土壌改良材、農業機械、鳥獣害対策についての展示を見たいという学園生が多く、実際に「肥料のブースが参考になった」との感想も聞かれました。一方、見学前はドローンやICTへの興味が少なかったようでしたが、見学を終えての感想の中では「新しい無人ヘリが出ていて、作業を楽にする機能が付いていて印象に残った」、「ICTが気になった。今度の栽培対策に使ってみたい」という声もあり、これからの農業に対する考えの幅が広がったようです。



## ～次回農業学園のお知らせ～ 3月6日（火）土づくり講座

土壌・土づくりに関する講義及び  
土壌断面調査の実習を行う予定です。

## 農業学園生募集中！

- ・新しく農業を始めた方
- ・少し前に就農したが、聞いてみたい話がある方
- ・普及センターってどんなところ？とお思いの方

ぜひ農業学園に来てみませんか？

内容は、皆様のご意見・ご要望を反映させていきたいと思っております。興味のある講座だけでも構いません。

お気軽にご参加ください！

